

日本生物学オリンピック 2016

本選（つくば大会）

2016 年 8 月 19 日～8 月 22 日

於：筑波大学

参加のしおり



2016 年 8 月

国際生物学オリンピック日本委員会（JBO）

<http://www.jbo-info.jp/>

<http://www.jbo-info.jp/jbo/JBO2016/jbo2016-02.html>

はじめに

国際生物学オリンピックは、世界約 60 カ国の代表が一年に一度集い、生物学の知識や実験技量を競い合うコンテストです。生物学を志す高校生が様々なプログラムを通して、友情を育む国際交流の場ともなっています。2016 年は、ベトナムのハノイで行われました。2017 年の国際生物学オリンピックは、イギリス（コヴェントリー市）で行われます。

日本生物学オリンピック 2016 本選は、予選を通過した 80 名を対象に、2009 年国際大会の会場であった筑波大学にて、実験試験を行うものです。参加者全員（高校 3 年生も含む）のうちから、予選・本選を通じた成績上位者に金メダル・銀メダル・銅メダルが贈られます。また予選・本選の結果を踏まえ、高校 2 年生以下の 15 名が代表選抜試験に進むことになります。

代表選抜試験は 2017 年 3 月 20 日（祝・月）に科学技術館（東京）で行われ、4 名が日本代表として、2017 年国際生物学オリンピックイギリス大会に出場することになります。

日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）では、試験を行うだけではなく、筑波大学での研究体験等を通じて、生物学に対する志を抱いている参加者同士の交流を深める企画を準備しています。

参加・不参加については、8 月 1 日（月）10:00 厳守で、Web サイトから回答もしくは、大会事務局 FAX（029-853-6300）宛に参加申込書等送信で回答していただき、参加者は、「参加申込書」や「保護者承諾書」等の書類原本を返信用封筒にて、筑波大学生物学類長室内 日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）事務局までお送りください。（8 月 5 日（金）必着）

登録 Web サイト <http://www.jbo-info.jp/Honsen2016>



（重要）ユーザー名とパスワードは、参加申込書同封

Web 登録又は FAX 送信での申込、および、書類原本の郵送は、必ず両方ともお願いします。

- この「参加のしおり」は、皆さんが本選（つくば大会）に参加するための手引き書です。参加のためにご用意いただきたいもの、会場への経路、集合場所、宿泊施設などについてはよく読んで、準備を進めてください。自宅用とあわせ 2 部同封のため 1 部は必ず当日もお持ちください。保護者の方は自宅用しおりや参加申込書・保護者承諾書がある書類に添付の「**保護者控**」を保管願います。
- ご不明な点、不安な点などがありましたら、日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）事務局までお問い合わせください。

問い合わせ・連絡先

〒305-8572 つくば市天王台 1 - 1 - 1 筑波大学生物学類長室内

日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）事務局

電話：029-853-4553（平日 8:30-17:30）

FAX：029-853-6300

日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）

【日程】2014年8月19日（金）～ 8月22日（月） 4日間 （前泊だと4泊5日）

【会場】筑波大学第2・生命環境エリア（茨城県つくば市天王台1-1-1）

【参加費】無料。期間中の宿泊、食事（前泊夜以外）、移動に関わる費用は主催者が負担します。

ただし、自宅と会場（又は宿泊施設）の往復交通費や前泊の夕食、宿泊中の有料サービス等は参加者で負担していただきます。ただし、交通費の援助を学校等から受けられない場合は、その一部を主催者により補助することがあります。（本選参加に伴う旅費補助希望調査票等提出者対象）

今回、つくば大会では一般のホテルを利用し、大会当日は朝早めの集合となるため、基本前日の宿泊ホテルを集合場所とします。（この時はホテルチェックインのみ）

【集合時間】前日の8月18日（木） 16時～22時 チェックイン

【集合場所】東横 INN（つくばエクスプレス研究学園駅北口）

（つくばエクスプレス「研究学園駅」北口より徒歩3分）

【交通手段】

つくばエクスプレス「研究学園駅」

（秋葉原より区間快速で47分）

※快速は停車しませんので

注意して下さい。

（つくばエクスプレ TX 時刻表：

<http://www.mir.co.jp/timetable/index.html>）



駅から宿泊ホテルへのルート

【チェックイン予定時間】皆さんのチェックイン時間を事前に把握したいため、つくばエクスプレス「研究学園駅」到着予定で構いませんので、参加申込時に到着予定時間をお知らせ下さい。

ホテルは16時から22時までの間に到着して下さい。もし、22時以降になる事があらかじめ判っている場合は、事前に本選大会事務局までお知らせ下さい。当日、到着予定時間より遅れる場合は、本選事務局の携帯番号（080-3340-3221）に連絡願います。

【前泊時夕食】18日の夕食の支給はありませんので、各自でご用意いただくか、ホテル周辺のコンビニや飲食店等をご利用ください。チェックインの際に周辺地図を配布いたします。夕食等で一時外出する場合も、22時までに戻って来るようにして下さい。

【前泊しない場合】 当日、直接大学に来る方

【集合時間】 8月19日（金）8:00 ～ 9:00（本選参加受付時間）

【集合場所】 筑波大学第2・生命環境エリア 総合研究A棟107室

305-0006 茨城県つくば市天王台1-1-1

（「筑波大学中央」バス停から徒歩1分。バス停から会場までは大会学生スタッフが案内します。）

【交通手段】

つくばエクスプレス「つくば駅」下車 （秋葉原駅から快速で45分）

つくばエクスプレス TX時刻表： <http://www.mir.co.jp/timetable/index.html>

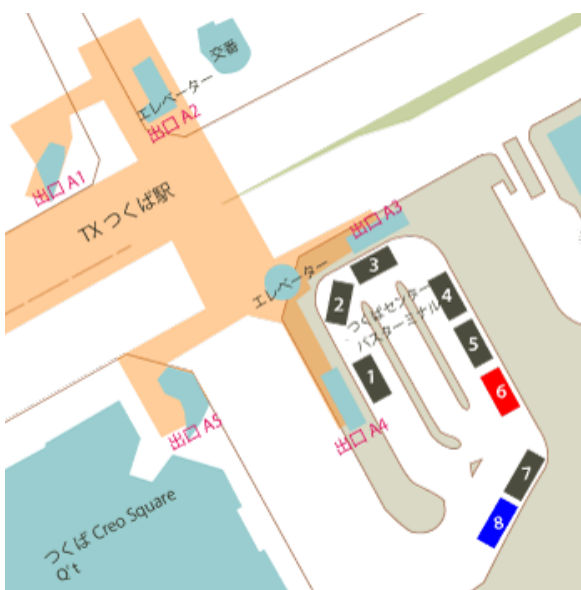
つくば駅から

つくば駅のバス乗り場（つくばセンター）6番のりばから、筑波大学循環バスがでていています。

左回りか右回りのどちらかが、朝8時頃は10分おきに発車します。「つくばセンター」から「筑波大学中央」までの所要時間は左回りだと約10分、右回りだと約15分で、料金は270円です。つくばセンター6番のりばからは、「筑波大学中央」行バスも多数でていて、こちらも利用できます。（所要時間・経路が若干違うが、料金同じ）

関鉄バス時刻表： <http://www.kantetsu.co.jp/bus/rosen/timetable/timetable/center/06.pdf>

つくば駅バス乗り場案内図



筑波大学循環バス路線図



大学のホームページトップ（<http://www.tsukuba.ac.jp/>）から 右上「検索」欄の左「アクセスマップ」をみると、本学に来る他の手段の案内もありますので、参考にして下さい。

【持物】

- ☐参加のしおり（この冊子）
- ☐筆記用具
- ☐着替え ☐雨具（かさ・かっぱ） ☐日よけ帽子
- ☐洗面道具（ホテル設備以外必要に応じて）
- ☐実験白衣（長袖・ヒザ丈）（筑波大学で受付後に購入も可能（4,104 円(税込み)）

M, L, LL サイズのみ

- ☐健康保険証（もしくは健康保険証のコピー）
 - ☐往復交通費、前泊夕飯代等
 - ☐生活用品等（常備薬、非常食、おやつ、腕時計(時計機能のみのもの)、勉強道具等必要に応じて）
- * ホテル近くのコンビニ等利用の一時外出は一部認めます。
- * 参考書などは特に必要ありません。
- * 実験に必要な器具などはすべてこちらで準備します。
- * 開会式会場で、手提げバッグと必要実験器具、T シャツ 1 枚を配ります。
（T シャツは 2 日目試験終了後の集合写真で全員着用してもらいます）
- * 貴重品は常に携帯するか、ホテル部屋の金庫に預けておくこと。

【服 装】

- ・ 生徒らしい普段着で結構です。
- ・ 実験試験のために、動きやすい服装で参加してください。
（フード、紐、過度の飾りなどがある服装は、実験中は危険です）
- ・ 靴はスニーカーなどの履きなれたものがよいです。サンダルやヒールのあるものは避けてください。
- ・ 実験室などは以外に冷房が効いていて冷えることがあります。また、本学は敷地が広く、少しの移動でも結構長く屋外を歩いたりします。特に 3 日目のエクスカーションや研究室体験では、長時間屋外を歩いたり、野外で採集したりする体験もあります。猛暑、雨天どのような天気でも活動出来る準備をお願いします。（帽子、雨具、汗ふきタオル、虫よけ、長そで等）

【宿泊場所】 東横 INN（つくばエクスプレス研究学園駅北口）

（305-0845 茨城県つくば市研究学園 5-13-7） 電話：029-863-1045(代表)

ホームページ URL <http://www.toyoko-inn.com/hotel/00228/>

- ・ 期間中、東横 INN ホテルから筑波大学会場等までは、専用のバスで送迎します。
- ・ 宿泊は、全員シングルルームを利用してもらいます。（一部、ダブルルームのシングル利用の場合もあります。）事前の消臭はお願いしておりますが、部屋によっては多少臭いが残っている場合があります。気になる場合は、宿泊スタッフにご相談下さい。

- ・ チェックアウトは最終日（8月22日（月））の朝になります。

- ・ **室内設備**

WiFi、LAN 接続口、電話、エアコン、テレビ、冷蔵庫(空)、電気ケトル、加湿器、金庫、ライティング
ディスク、ドライヤー、ボディソープ、シャンプー、リンス、タオル、バスタオル、歯磨きセット、
スリッパ、(ナイトウェア：1階ロビーにて)

- ・ **施設サービス・設備**（1階ロビーや各フロアで共用、フロント貸出等）

自動販売機、電子レンジ、製氷機、ウォーターサーバー、ズボンプレスサー、宅配便等
アイロン（貸出）、消臭剤(貸出)

その他有料のサービス利用分は、各自で精算していただきます。

【食事】

朝食は、ホテルのサービス（19日～22日）、昼食（弁当）や夕食は、筑波大学第2エリア食堂など
で19日～21日まで準備します。22日の表彰式後は交流会で軽食を用意しますが、参加は任意です。
アレルギーや持病などで食事に制限のある場合は、必ず「参加申込書」に具体的に記載してください。

【ホテルでの朝食】

毎朝、1階のロビーにて、宿泊者向けの朝食サービス（6：30～）を利用してもらいますが、全員が
一度に食べる場所がないため、班ごとに時間をずらして利用してもらう予定です。どの時間帯に食べて
貰うかの班分け案内はチェックインの際に配布しますので、指定された時間にとるようにしてください。
期間中は、他の一般利用客もいますので、時間帯によって混み合う事も予想されます。混み具合によっ
ては、各自調整し、その日に乗るバスの時間に遅れないようにしてください。

【送迎バス移動】

大学や式典会場までバスで移動しますが、2台にわかれて、時間帯もずらしての移動になります。
そのため、大学や式典会場、ホテルなどで一時待機する場面が多いと思いますが、ご理解願います。
バス移動の班分け案内についてもホテルチェックインの際に配布します。

【体調不良などの場合】

本選（つくば大会）期間中は大学内に救護室を設けますが、体調不良や怪我などの場合は事務局側の判
断で、近隣の医療施設での診察を受けることになりますので、健康保険証（もしくはコピー）を必ずご
持参ください。

【T シャツサイズ】 1 日目朝に配布予定

配布 T シャツサイズ表

スポーツイベント用薄手ドライ T シャツ メッシュ ポリエステル 100%

男女兼用ですが、基本成人男性サイズの表記と考えて可

	SS	S	M	L	LL	3L
身丈	62	65	68	71	74	77
身幅	44	47	50	53	56	60
衿丈	40	42	44	46	48	52

衿丈:後襟中央から袖先までの長さ



【白衣サイズ】 長袖ヒザ丈 1 日目の受付会場で販売 (事前申込者のみ)

大学で購入出来る白衣は以下の物 税込 4,104 円

男性用

	M	L	LL
肩幅	45	71	74
胸囲	108	112	116
着丈	105	110	115
袖丈	56	58	60

女性用

	M	L	LL
肩幅	40	41	43
胸囲	100	104	108
着丈	100	105	110
袖丈	52	54	56

1 日目、2 日目の試験日は、実験室では必ず着用して貰います。3 日目の研究室体験でも必要な場面があるかもしれないので、持ってくることをすすめます。

やむを得ない事情によりキャンセルや遅刻する場合には、できるだけ早く下記連絡先にお知らせください。

【連絡先】 大会期間直前 及び大会期間中

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生物学類長室内

日本生物学オリンピック 2016 本選（つくば大会）事務局

電話: 029-853-4553（平日 8:30-17:30 及び 大会期間中）

FAX : 029-853-6300 （注）8/13~17 は本選事務局閉室 休日扱い

携帯番号 080-3340-3221

なお携帯電話は8月18日から22日までの期間のみしか通じません。緊急時を除き、早朝・深夜の連絡はご遠慮ください。

【タイムスケジュール】

日	時		場所
前日;8/18	16:00～22:00	ホテルチェックイン	東横 INN（研究学園駅北口）
1日目 8月19日 (金)	8:00～9:00	本選受付	総合研究 A107
	9:00～9:30	開会式	総合研究 A110
	9:45～11:45	実験試験予備体験	2B501, 2B503
	11:45～13:00	昼食・休憩	2C310, 2C410
	13:00～14:45	実験試験 1・2	2B401,2B403,2D413, 2D417
	14:45～15:45	解説 30 分・休憩	2C310, 2C410
	15:45～17:30	実験試験 2・1	2B401,2B403, 2D413, 2D417
	17:30～18:30	解説 30 分・休憩・移動	2C310,2C410
	18:30～19:30	夕食	第 2 エリア大食堂
	宿泊		東横 INN（研究学園）
2日目 8月20日 (土)	9:00～11:20	実験試験予備体験	2B501,2B503
	11:20～12:30	昼食・休憩	2C310, 2C410
	12:30～14:15	実験試験 3・4	2B401,2B403, 2D413, 2D417
	14:15～15:15	解説 30・休憩	2C310, 2C410
	15:15～17:00	実験試験 4・3	2B401,2B403, 2D413, 2D417
	17:00～18:00	解説 30 分・休憩・移動	2C310,2C410 （屋外移動）
	18:00～19:30	夕食・レクリエーション	大学会館食堂 集合写真(夕食前)
	宿泊		東横 INN（研究学園）
3日目 8月21日 (日)	9:30～17:30 A コース	最先端研究室体験(1 日) (途中昼食)	各研究室等 (場所・時間は研究室ごと)
	9:35～17:30 B コース	エクスカーション・ 昼食 最先端研究体験(午後)	エキスポセンター 総合研究 A(大学戻り後) 各研究室等 (13:30～)
	18:00～20:30	交流会	第 2 エリア大食堂
	宿泊		東横 INN（研究学園）
4日目 8月22日 (月)	8:00～10:00	チェックアウト・移動等	
	10:00～10:30	アンケート記入	つくば国際会議場中ホール
	10:30～12:00	閉会式・表彰式	つくば国際会議場中ホール
	12:00～13:00	交流会 (パ`ンパ`イ`ン`グ)	中ホールホワイエ
	13:00	解散	(つくば駅送迎)

* 宿泊先である東横 INN と大学の往復や国際会議場等への移動は専用バスを利用します。

【エクスカーショーン】 研究室体験が午後からの方全員

〇つくばエキスポセンター

1985 年に「国際科学技術博覧会(科学万博-つくば'85)」が開催された際に、科学万博を記念する恒久施設として建設されました。博覧会終了後も身近な科学を親しんでもらう科学館として再オープンし、今日に至っています。開設当時のものから最新のものまで各種展示、プラネタリウム、3D シアター、サイエンスミュージアムショップがあります。

【最先端研究体験について】

筑波大学生命環境系の研究室にて研究を体験します(ひとり 1 研究室)。以下の案内文を参照のうえ、「参加申込書」等にて、興味ある研究室を必ず **5 つ** お知らせください。ただし、**A コースから 3 つ、B コースから 2 つ** をお選びください。なるべく希望をききたいと思いますが、それぞれ受入人数に制限があり、人数調整のため、希望がとまらない場合もありますので、ご了解願います。

A コース (1 日研究室体験するコース)

1. 分子細胞学 (中野 賢太郎 先生)「細胞ができるプロセスを考える」

代表的なモデル生分の分裂酵母をつかって、細胞が分裂し、新たにつくられるしくみを調べます。温度感受性突然変異株を観察し、その表現型が生じる原因を考察してみましょう。蛍光顕微鏡で細胞骨格などの生体分子を観察してみましょう。

2. 光合成代謝制御学 (鈴木 石根 先生、新家 弘也 先生)

「耐熱性フィコシニアン発現ラン藻を調べてみよう」

フィコシニアンは、ラン藻の持っている青色の色素で光合成に利用する光を集めるアンテナの役割をしています。一方で、食品や化粧品に色素としても利用されていますが、熱に弱いという問題点があります。ここでは、新たに見つけた耐熱性のフィコシニアンの応用利用を目指した基礎研究の一端を体験してもらいます。

3. 形態学・発生生物学 (丸尾 文昭 先生)「土壌動物の採集・分類と走査型電子顕微鏡観察」

電子顕微鏡の試料作製から観察まで一通り体験してもらいます。学内で落ち葉や土壌を採取して、そこからクモ・多足類・ダニ・昆虫などの土壌動物を見つけて同定します。興味のある生物を電顕用試料にして、走査型電子顕微鏡で観察します。微細構造の特徴やボディプランなどについて考えます。

4. 植物分子生物学 (三浦 謙治 先生)「植物を用いたタンパク質発現」

組換えタンパク質を作製する方法は色々あるが、植物を用いたタンパク質生産を行う方法を紹介します。実際に緑色蛍光タンパク質を発現させた植物の観察及びそのタンパク質の抽出をして貰います。また、遺伝子実験センター施設の紹介も行います。

5. エピジェネティクス（谷本 啓司 先生）「哺乳動物が両親から受け継ぐ DNA 以外の情報を探る」

トランスジェニック・マウスの尻尾から抽出したゲノム DNA について、PCR 法やメチル化感受性制限酵素を使用して解析します。これにより、子供が両親から受け継ぐ DNA 以外のエピジェネティックな情報について明らかにし、その生物学的意味について考えます。

6. 植物分類・形態学（石田 健一郎 先生、宮村 新一 先生、中山 剛 先生）

「微細藻類の電子顕微鏡観察」

学内の池などから付着珪藻類などの微細藻類を採集し、光学顕微鏡と走査型電子顕微鏡をつかって観察します。

7. 植物寄生菌学（岡根 泉 先生）「身近にいる植物寄生菌類を探る、観る、知る」

野外において様々な植物寄生菌類およびその他の菌類を採集し、各種顕微鏡を用いて観察する。そして身近にいる菌類の多様性と生態的特徴について学び、生態系における菌類の重要性について学びます。

8. 化学生物学（臼井 健郎 先生）「薬剤の動物細胞への作用を観察しよう」

私たちの健康を守るため、これまでに数多くの薬が開発されています。今回は細胞分裂期に作用する抗がん剤などの薬剤が動物細胞の紡錘体等の形態にどのような作用を与えるのかを観察します。

9. 細胞生物学（石川 香 先生）「細胞内のエネルギー工場を観察しよう」

食物から得た栄養を元に、生体に必要なエネルギー分子である ATP を合成しているミトコンドリア。そんなミトコンドリアについて、知識を深めつつ、いくつかの手法を使ってミトコンドリアを実際に観察します。

B コース（半日(午後)研究室体験するコース） 午前はエキスポセンター自由見学

10. 神経行動遺伝学（本庄 賢 先生）「ショウジョウバエの痛覚と神経遺伝学実験技術」

動物行動の分子・神経メカニズムの研究においてショウジョウバエは極めて有用なモデル生物です。ここでは、ショウジョウバエの痛覚神経と痛覚反応行動に注目し、光で神経活動を操作できる光遺伝学技術や、脳の一部神経細胞のみでの遺伝子発現操作技術など、ショウジョウバエの簡便で強力な神経遺伝学実験法を体験します。（実験ではショウジョウバエの幼虫を使います）

11. 分子生物学（千葉 智樹 先生、鶴田 文憲 先生、佐藤 伴 先生）「マウスの細胞を培養してみよう」

近年の医学薬学の発展に動植物の初代細胞培養実験は多大な貢献をしてきました。本体験では、マウス胎児由来の組織から、細胞を単離し培養を行う実験を経験してもらいます。また動物実験に対する倫理的な側面についても説明していきます。

1 2. 再生生理学（千葉 親文 先生）「イモリの再生を観察しよう」

イモリは失った体の一部を生涯に渡り何度でも繰り返し再生できる再生のチャンピオンです。本体験では、イモリのレンズや網膜神経組織の再生を誘導する外科手術を体験したり、肢の再生芽や再生途中の組織を実際に観察したりします。また、再生研究のための様々な解析技術についても紹介します。

1 3. 植物生態学（廣田 充 先生）「植物や生態系の二酸化炭素吸収能力を測る」

草原や森が、植物の光合成によって二酸化炭素（CO₂）を吸収することはよく知られています。一方で、草原や森林で生息する生き物の呼吸により二酸化炭素（CO₂）を放出することもご存知でしょうか。本研究では、最新の機器を用いてそれらを測ることで、生態系の CO₂ 吸収能力を明らかにします。

1 4. ゲノム情報学（橋本 哲男 先生）「生命の樹：生物界全体の系統樹を描こう」

我々ヒトを含む地球上の全ての生物は共通の祖先生物から進化してきたものであるため、個々の生物種は1つの巨大な系統樹のどこかの枝に位置づけられます。このプログラムでは、全ての生物が共通にもつ遺伝子の配列データをもとに、コンピューターを使って生物界を代表する生物の系統樹を描いてみます。

1 5. 植物生理学（古川 純 先生）「ケイ素欠乏のイネで誘導されるリグニン合成の観察」

イネ（稲）は自らの形態維持に重要な養分であるケイ素が欠乏すると、それを補うためにリグニンの合成を活性化させます。本体験では、ケイ素欠乏イネを用いてどのような部位にリグニンが蓄積しているかを自らの観察から検証します。

1 6. 水圏生態学（大森 裕子 先生、濱 健夫 先生）

「サイズと色素による植物プランクトン組成の測定」

学内の池から水試料を採取し、生息する植物プランクトン組成を、フローサイトメーター（粒子のサイズや色素の違いにより測定する機器）を用いて分析します。また、環境と組成の違いについて考察します。

1 7. 進化発生学（山崎 敦子 先生）「ウニの卵に注射して光る幼生をつくろう」

遺伝子のはたらきを明らかにするために、さまざまな動物の卵に DNA などの注入が行われています。本体験では、直径約 100μm（マイクロメートル）のウニやヒトデの卵に、GFP と蛍光色素を注射し、光る胚をつくります。

【閉会式後の交流会（自由参加）】

閉会式・表彰式終了後、基本解散となりますが、つくば国際会議場中ホールホワイエにて、パンと飲み物を用意しますので、自由に食べながら参加者同士やお世話になった大学生スタッフと交流し、別れを惜しみ楽しんでいただけたらと思います。参加は自由なので、帰宅の交通機関の時間に合わせてお帰りください。

【解散後の送迎について】

つくば国際会議場からつくば駅まで、送迎バスを用意しますので、ご利用ください。

★送迎バス発車時刻等（予定）

乗り場：つくば国際会議場出入り口付近

降り場：つくば駅 A5 出口（Q't 前）付近

1 便 13:00 頃発 13:10 頃着

2 便 13:30 頃発 13:40 頃着

3 便 14:00 頃発 14:10 頃着

【荷物送付について】

近年、荷物を事前送付、帰宅前送付希望者が増えており、以下の方法でのみ対応しています。

事前送付：事前送付することを必ず事務局までご連絡下さい。宿泊場所である東横 INN 住所、参加者氏名(フルネーム記入)宛にし、チェックイン日を必ず記載して、発払い宅配便にて送付願います。

帰宅時発送：今回の宿泊ホテルは、フロントで宅配便(ヤマト便)が利用できます。

ホテルから発送する場合、チェックアウトする 8/22 朝までに、フロントに依頼願います。バス移動時間に遅れないよう済ませて下さい。

尚、クール便や規格外（160 サイズ以上や 25kg 以上）の荷物の扱いは出来ません。

式典後解散となるつくば国際会議場からも一部可能ですが（着払い発送のみ、日付指定不可）、原則として受け付けません。基本はホテルでチェックアウト前に済ませて下さい。

宅配便利用によって生じた荷物の破損・紛失等に関して、宿泊ホテルや本選大会事務局側は一切責任がとれませんのでご理解願います。

【本選期間中の注意事項】

本選（つくば大会）実験試験を受ける際は、休憩の時間も含め、携帯電話やスマートフォンの使用はもちろん、携帯することも禁止します。試験日の 19、20 日の両日に限っては、携帯電話等は、宿泊場所へ置いておく（19 日当日集合者は大会運営事務局に荷物と一緒に預ける）ことを徹底してもらいます。試験室には掛時計がありますが、場所によっては見えにくいいため、腕時計(特殊な機能がないもの)の持参は制限しません。

今回、宿泊施設として利用する「東横 INN」ホテルは期間中、一般の利用客も多く宿泊しているので迷惑にならないようホテルのスタッフや、引率する本選運営スタッフの指示に従って下さい。

本選大会期間中は、試験や移動、ホテルの朝食などそれぞれグループにわかれた行動になります。班分けは、主に本選大会中の受験番号（19 日朝の受付時にお知らせ予定）や 3 日目の体験コース等でそれぞれ指定されますので、指定された班での行動をお願いします。班によって、朝食時間や、送迎バスの出発時間が違いますので、間違えないようお願いします。

【よくある質問と答え】

Q. 実験試験予備体験とはなんですか？

A. 実験試験においては器具を使ったことがあるかどうかで差が出てしまうことがあります。そのようなことを防ぐため、実際に試験で使うことになる器具等の使い方を事前に体験してもらいます。

Q. 4 日間最後まで参加できない事情がある場合は、本選参加を辞退するべきでしょうか？

A. 運営側としては 4 日間参加してもらいたいのが理想ですが、本当に重要なのは 1 日目、2 日目の実験試験を受けることなので、3 日目以降が不参加になってしまう日があるような事情の場合は事前に相談願います。過去の本選大会において、一部不参加でも参加を認めていた事例はあります。